

# 【 第8回 ユースアジア選手権 】

2018年9月16日～9月26日 開催地:ヨルダン

## 試合結果報告

9 月 22 日 ( 土 )

JPN	VS	IND
20	前半	12
21	後半	6
41	合計	18

### 個人得点

名前	得点	合計
1 石 濱 壘		0
2 佐 藤 陽 太	4	4
4 可 児 大 輝	3	3
6 窪 田 礼 央	2	2
7 安 平 光 佑	1	1
8 清 水 裕 翔	4	4
9 吉 田 守 一	1	1
11 藤 川 翔 大	4	4
12 矢 村 裕 斗		0
14 山 口 直 輝	1	1
15 石 嶺 秀	2	2
17 朝 野 翔 一 郎	2	2
18 梶 山 瑞 生	2	2
20 石 田 知 輝	7	7
21 角 陸 輝		0
25 蔦 谷 大 雅	8	8
		41

### 戦評

ユース世界選手権の出場権を賭けてのインド代表との対戦。「相手をリスペクトし、攻守において全力でプレーする。」がこの試合のキーワードである。スタートは、RW石嶺、RB蔦屋、CB安平、LB窪田、LW可児、PV吉田、GK矢村の布陣でスローオフ。序盤、日本は石嶺のサイドを皮切りに、安平、可児の速攻で得点を重ねるが、インドの両ウイングプレイヤーに連続でサイドから決められ、序盤は一進一退の攻防が続く。前半19分、蔦屋のディスタンスから6連続得点を重ね、23分には15-9と突き放す。その後も攻守が噛み合い、前半終了時には20-12と大きくリードした。

後半も日本の勢いは止まらない。藤川、清水、佐藤らの活躍で7連続得点を奪う。DFが安定し、次々に速攻が決まり、全員出場・全員得点で、最終スコアは41-18と大きく突き放して勝利した。

試合終了後は世界選手権出場権を獲得したこともあり、ヨルダン在住の日本人会の皆さんと共に、歓喜の声アンマンの体育館に響き渡った。1日の休息日を挟み、いよいよFINAL4に臨む。ユースアジア選手権初優勝に向けてしっかりと準備をして、悔いのない戦いをしたい。

報告記入者 :

**吉田耕平**